京都教区時報

Home Page http：//www.kyoto.catholic.jp　4345

京都教区広報委員会
（編集長　村上透磨）
京都教区本部事務局
京都市中京区
河原町通三条上る
TEL 075－211－3025
FAX 075－211－3041
honbu@kyoto.catholic.jp

3頁～4頁　－シリーズ召命－　どうして神父さまに!!　菅原友明神父

5頁～6頁　2017年 京都司教区 決算報告

点訳版「京都教区時報」〈無料〉ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。
TEL・FAX 079－431-8601

2018年　司教年頭書簡「エコロジカルな回心」

回勅『ラウダート・シ』の呼びかけ

自然との和解

今月は、司教年頭書簡の4つの回心の中で「自然との和解」というテーマを一緒に考えてみたいとおもいます。

まずこのテーマを改めて見ると次のように考えられます。「自然とのかかわりの回心」について、地球環境の深刻な破壊と危機を憂い、この問題を、地球という共通の家に住む人類全体で真剣に受けとめ、その解決のために具体的に行動しようと、教皇フランシスコは呼びかけています。

「わたしたちの後に続く人々、また今成長しつつある子供たちのために、わたしたちは一体どのような世界を残していきたいのでしょうか」（160）。

この質問こそ、教皇フランシスコの回勅「ラウダート・シ」の中心です。回勅はこう続けています。「この質問は、ただ環境に関してのみ問われているのではありません。なぜなら、この問いは総合的に捉えられるべきものだからです」。これはさらに、存在意義そのもの、また社会生活の根底にある価値に対する問いかけでもあります。「何のためにわたしたちはこの世に生まれてきたのだろうか。また、何のために働き、苦労するのだろうか。なぜこの世界はわたしたちを必要としているのか」。「これらの根本的な問いかけ無しに、わたしたちの環境問題に関する配慮は、重要な結果をもたらすことはないでしょう」と教皇は言われます。

7
2018

私は、地球の未来をどのようにしていくかについて、今あらためて、皆さんと話し合いたいと思います。現存する環境問題と人間のルーツに関心を持ち、話し合わなければなりません。

私たちは、すべての被造物のケアのために、文化、経験、イニシアチブ、そして能力を使って協力し合うことが出来ます。

自然への人類の責任、あらゆる被造物間の密接な相互関係、共有財としての自然環境について考察してみます。神が造ってくださったあらゆる被造物（人間だけではなく）の間には、密接な相互関係が存在します。自然環境というのは共有財で、人類皆が一緒に享受し、利用させていただくものです。

聖書や信仰の伝統を、わざわざ環境問題に結び付けて話すことは、ふさわしくないと思う人たちもいるかもしれません。けれどもそうした人たちに対して、創造の福音といわれるキリスト教の信仰の光に照らすと、自然との関わりは信仰生活そのものの中に含まれる課題として、受け止められて当然であり、それゆえ環境問題についての取り組みは、信仰と結び付けることによってかえって一貫性が増すのです。

もう一歩進んで、この地球や自然界、この世界が私たち人間に何かを求めているのではないか、地球上で人間は何をする使命を帯びているのだろうか、という問いを意識することが重要です。この地球を健やかに保ち、次の世代に健やかな状態で受け渡し、彼らも地球を大事にしていくことができるようにしなければなりません。私は何をする必要があるのかという問いを、私は何のために生まれてきたのか、という問いと密接に繋がる深さで問い直すことが求められています。

これから**「自然との和解」について理解するために**、一人一人と教会共同体は何をするべきか？　どういう形で行動すべきか？

自然を深く考え、自然を見たり、自然と協力したりすることが、私たちの使命です。

アントニオ・カマチョ

小学生の信仰教育についてのアンケート５

☆教会学校のクラス分け

クラス分けは、学年ごとの他に「幼児～小１・小２～４・小５～６」「幼児～小３・小４～６」などがあり、初聖体とのクラス分けもされていました。

☆教会学校の内容

- 祈り、ロザリオ、十字架の道行。
- 聖書、要理、典礼、典礼暦の勉強。
- 日曜日の福音の朗読、聖歌練習、侍者の練習。
- 絵をかく、工作、ゲーム、レクリエーション。
- 紙芝居、パワーポイント、「こじか」などを使っている。

学校とは違い、教会学校に来る子どもたちの年齢や性別はバラバラです。ま

た、外国出身の保護者を持つ子どもたちも少なくありません。そのことを踏まえ、それぞれの小教区で、さまざまな工夫と努力をされていることがわかります。

「子どもたちに信仰を伝える」方法には決まったかたちがなく、担当者（リーダー）は、試行錯誤の連続かもしれません。

リーダーたちは、その場、その時の状況に合った子どもたちとのコミュニケーションを大切に、教会学校の運営にあたっておられます。

大津教会訪問（河原町教会学校）

信仰教育委員会

シリーズ ―召命―

どうして神父さまに!!

菅原友明　神父

今回は京都教区司祭菅原友明神父にお話を伺いました。

（2009年6月～2010年6月に、掲載したシリーズの続編です）

○は編集子

●は菅原神父

○　カトリックとの出会いを聞かせてください。

●　大学を中退し郵便局で働きはじめて数年たった頃、夏に京都旅行をしました。今は無き松ヶ崎の簡保の宿に泊まりましたが、朝、窓から見た光輝く風景に見入ってしまい、またここに来なければと思いました。そのため、佛教大学の通信教育部に入学し、スクーリングのために度々京都に来るようになりました。佛大での、「朝の宗教行事」でお念仏を唱えたのが宗教との出会いでした。法然上人の求道の遍歴に憧れて、京都中の上人ゆかりの寺院を巡礼しました。上人が若き日を過ごされた比叡山黒谷の青龍寺には何度も訪れましたし、知恩院の御廟にもしばしば通い、静かなひと時を過ごしました。ある夜、木屋町で知人と飲んでいて帰りが遅くなり、これも今は無き河原町三条のサウナオーロラで仮眠しました。この仮眠室に置いてあった「1ポンドの福音」という高橋留美子のマンガがキリスト教との出会いとなりました。当時、結婚のことを考えていた私でしたが、その主人公のシスターが「私は神に仕える身ですので」と言って、独身生活を守ろうとしているシーンが、不思議に印象的でした。なお、サウナオーロラは私の司祭叙階式の直前に閉店しました。今のコクミンドラッグの二階以上の空きスペースがその跡です。一方、「1ポンドの福音」は、私が召命のために京都に来てから物語が完結し、主人公のシスターは修道院を出て、それまで彼女が支えてきたボクサーと一緒に生きる道を選びます。こ

「うーこんどの」にカレーを振る舞う

のサウナでの、このマンガ本との出会いによって、私は生まれて初めて教会に行くことになりました。26歳の時でした。

○　神父様になろうと思われたお話を聞かせてください。

●　先ほど触れましたが、京都の松ヶ崎の朝の光景に強くひかれ、いつかこの街で暮らしたいと思っていたので、とにかく京都にある修道会を探しました。31歳の春、ちょうど勤続10年となったのを期に郵便局を退職し、ヴィアトール修道会の志願者になり、ついに京都にやってきました。この時から、司祭に叙階されるまで、実に15年という歳月が過ぎましたが、どうして司祭になったのか、という問いには、「わからない」としか答えようがありません。たとえば「どうしてこの人と結婚したのですか」と聞かれた場合、それを説明することは困難で、どんな言葉を使ってもうそになり、結局、「わからない」というのが一番誠実な答えなのではないでしょうか。去年、モンロイ神父様帰国の際、時報のインタビュー担当者として、「どうして神父になろうとされたのですか」とお聞きした時、「どうしてでしょうね。わかりませんね。」とお答えになったのが預言的で心打たれました。この人と結婚するとか、司祭になるとか、そういうことだけでなく、この地上でなぜ私が今のこの生き方をしているのか？深く見つめれば見つめるほど、「わかりませんね。」となるのだと思います。

○　司祭叙階から3年が経ちましたが、今のお気持ちを聞かせてください。

●　信仰生活というのは人の思いをはるかに超えているのだと思います。私達が思い描くどんな理想的信仰生活像も、結局は人間的なものに過ぎないはずです。人間的に見た時、自分の司祭生活は、バラ色でもなければ満ち足りているわけでもないし、やりがいを強く感じているということもありません。ただ、キリストの過越の神秘、十字架のあがないの神秘、キリストの流された血が私達を永遠の命に導いたということ、そして、これらのことと一つに結ばれている聖体の秘跡、それを生きて、伝えていくことを強く抱いています。そして、各教会でお会いしているすべての方に支えられていることの有難さにいつも感じ入り、深く感謝いたしております。私達の教会が、贖いの神秘を伝え、ご聖体の秘跡を伝えるため、私の司祭職のため、どうぞお祈りください。

良書紹介

聖書講座シリーズ14
『使徒言行録を読む ―聖霊に導かれて―』

使徒言行録はルカ福音書の後編として書かれ、初代教会においてどのように福音が宣教されていったかをわたしたちに伝えている。エルサレムでの初代教会、ペトロの宣教、そしてパウロの宣教と受難について述べていくことを通して、使徒言行録の本当の主人公が聖霊であることが明らかにされていく。

カトリック教会で使徒言行録についての解説がほとんどない中、使徒言行録を読んでいくための必修の講話集。

・はじめに　（村上　透磨）
・ペトロの宣教　（中川　博道）
・聖霊の働き　（一場　修）
・パウロと律法　（西　経一）
・パウロの宣教　（北村　善朗）
・パウロの受難　（鈴木　信一）
・パウロからわたしたちへ　（澤田　豊成）

2018年４月　新刊
定　価：本体1,400円+税
販　売：京都司教区聖書委員会
発行所：サンパウロ

2017年度カトリック京都司教区 決算報告

（2017年１月１日から12月31日まで）

京都司教区 法人本部 収支

平素より、京都司教区のために、ご支援ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

当年度の決算は収入合計322,488千円、支出合計は317,068千円で、当期収支差額は5,420千円のプラスとなりました。以下、収入・支出の主な点をご説明します。

１．収入について
①収益部門収入の大半はロイヤルホテル再開発に係る受益権譲渡承諾料です。
②土地売却収入は旧綾部教会跡地の土地売却などによります。
③小教区からの納付金(A)※は年々減少しています。いろいろな事情があるかと思いますが、皆様の一層のご協力をお願い致します。

２．支出について
①教育養成費は通常の経費のほか、「司祭・修道者研修会」の費用が含まれています。また「いのちへのまなざし」の購入・配布もありました。
②事務管理費は通常の費用のほか、前述の受益権譲渡承諾料に係る顧問弁護士への報酬が発生しています。

2017年度も黒字決算となりました。しかし、受益権譲渡承諾料など特別な要因を除いた経常的な収支を見てみますと赤字になっています。現在の教区を取り巻く環境を考えますと、将来に向けて決して楽観できないと思います。

教区財政安定のため、皆様の一層のご協力をお願い致します。

※納付金(A)とは、教会献金とミサ聖祭献金の15%

2018年７月１日
カトリック京都司教区
本部事務局長　北村善朗

京都司教区　2017年度　教区本部会計収支計算書

自2017年１月１日　至2017年12月31日

（単位：千円）

科目	実績	科目	実績
Ⅰ 経常支出	196,892	**Ⅰ 経常収入**	243,842
1 福音宣教活動費	64,233	1 納付金収入	147,800
祭儀費	2,941	司教司牧納付金	2,133
教育養成費	4,040	司祭司牧納付金	10,343
神学生養成費	5,932	小教区納付金（A）	32,834
諸委員会活動費	3,405	小教区納付金（B）	75,191
教区事業活動費	43,613	小教区納付金（C）	18,142
諸活動団体補助金	520	小教区納付金（D）	1,404
アジア交流費	0	福音宣教協力金	3,455
済州交流費	1,899	建設分担金収入	4,298
国際交流費	238		
会議費	1,598		
図書費	47		
2 寄付金支出	800	2 寄付金収入	85,466
		一般寄付金収入	1,520
		収益部門収入	83,946
		その他の寄付金	0
3 特定献金支出	10,081	3 特定献金収入	10,081
4 人件費	105,374		
5 維持管理費	5,539		
6 事務管理費	9,677		
7 福音宣教企画室	841	4 福音宣教企画室	148
8 大船渡特別献金	347	5 大船渡特別献金	347
Ⅱ 墓地勘定支出	7,484	**Ⅱ 墓地勘定収入**	10,399
（衣笠）墓苑整備費	4,448	（衣笠）墓地使用料	2,790
（衣笠）墓苑管理費	1,651	（衣笠）墓地祭儀収入	5,176
（神の園）管理祭儀費	299	（神の園）使用料収入等	319
（御所墓苑）管理祭儀費	840	（御所墓苑）使用料収入	1,975
（松阪納骨堂）管理祭儀費	246	（松阪納骨堂）使用料収入等	139
Ⅲ 特別勘定支出	1,156	**Ⅲ 特別勘定収入**	12,497
一粒会	0	一粒会	8,936
一万匹の蟻	1,156	アジア基金	717
小教区特定積立	0	済州基金	1,192
司教座修築積立	0	一万匹の蟻	1,156
建設資金積立金	0	国際協力基金	496
		小教区特定積立収入	0
Ⅳ 資産支出	111,536	**Ⅳ 資産運用収入**	32,286
土地購入支出	0	預金利息収入	4,183
建設仮勘定支出	0	土地売却収入	28,073
建物支出	9,361	預金取崩	0
建物付属設備支出	0	資産売却	0
什器備品支出	220	出資金収入	0
通信機器	0		
貸付金支出	300		
定期預金繰り入れ支出	0		
投資有価証券購入支出	76,732	投資有価証券売却収入	0
預託金支出	43	車両売却収入	30
構築物	0		
車両	4,880		
福音宣教基金	20,000		
その他	0		
Ⅴ その他（雑損失）	0	**Ⅴ その他の収入**	23,464
財務支出	0	雑収入	23,464
支出計	317,068	**収入計**	322,488
当期収支差額	5,420		
支出合計	322,488	**収入合計**	322,488

7月のお知らせ

教　区

聖書委員会／Tel.075(211)3484 ㊌㊍
聖書講座「回心 －観想・祈り・詩う－」
日　時：4日㊌ 19:00　5日㊍ 10:30
テーマ：自然(私たちの家)と和解しなさい
講　師：一場 修師
日　時：18日㊌ 19:00　19日㊍ 10:30
テーマ：隣人(特に貧しい人)を大切にしなさい
講　師：柳田 敏洋師(イエズス会)
会　場：河原町教会 ヴィリオンホール
よく分かる聖書の学び
日　時：11日㊌ 10:30
講　師：北村 善朗師／参加費：300円
会　場：河原町教会 ヴィリオンホール

ブロック

奈良ブロック
聖書講座「神のまなざしを思う」
日時場所：13日㊎ 19:00 大和郡山教会
14日㊏ 10:00 奈良教会
講　師：カブンディ・オノレ師(淳心会)
日時場所：27日㊎ 19:00 大和八木教会
28日㊏ 10:00 奈良教会
講　師：大塚 喜直司教
平和旬間行事　講演会
日　時：8月5日㊐ 13:30 受付 14:00 講演
15:30 ミサ 16:30 茶話会
講　師：一場 修師
テーマ：命
場　所：大和八木教会

京丹ブロック
平和旬間行事　講演会
平和を作り出すキリストと市民の集い
「人を大切にすること」
～釜ヶ崎での関わり・活動を通して～
日　時：8月5日㊐ 16:00
講　師：本田 哲郎師(フランシスコ会)
場　所：長岡教会
参加費：無料

三重北部ブロック
平和旬間行事　サマーキャンプ
日　時：29日㊐～31日㊋
テーマ：神様と共に自然に親しもう
場　所：四日市市少年自然の家

教区広報委員会からのお知らせ
※ お知らせに載せたい情報は、原稿締切り日までに教区本部事務局宛に Fax.075（211）3041か honbu@kyoto.catholic.jp に発信者のお名前を明記してお寄せください。
※ **9月号の原稿締切り日は7月18日㊌です。**

修　道　会

男子カルメル修道会(宇治修道院)
Tel.0774(32)7016 Fax.(32)7457
聖書深読黙想会(九里 彰師)
日　時：7日㊏ 10:00～16:00
参加費：2,500円
一般のための黙想(中川 博道師)
日　時：14日㊏ 17:00～15日㊐ 16:00
テーマ：真の霊性を探す教会
参加費：7,000円
生活の中での霊的同伴(九里 彰師)
日　時：20日㊎ 20:00～21日㊏ 16:00
参加費：6,000円
水曜黙想(中川 博道師)
日　時：25日㊌ 10:00～16:00
テーマ：預言者エリヤとカルメル
参加費：3,000円

諸　団　体

京都カトリック混声合唱団
練　習：8日㊐ 14:00／22日㊐ 14:00
28日㊏ 18:00 ミサ奉仕後
カトリック会館6階
京都カナの会
例会：1日㊐ 13:30 カトリック会館6階
コーロ・チェレステ(女声コーラス)
練　習：12日㊍ 10:00／26日㊍ 10:00
カトリック会館6階
聴覚障がい者の会(どなたでも参加可)
手話表現学習会(聖書と典礼)
日　時：12日㊍ 13:00 カトリック会館6階
望洋庵／ Tel.075(366)8337
青年のための聖書講座
日　時：5日㊍ 19:00～21:00
指　導：大塚 乾隆師
参加費：200円(食事代含)
キリスト教講座
日　時：10日㊋ 19:00～21:00
指　導：大塚 乾隆師
日　時：12日㊍ 19:00～21:00
指　導：Sr. 小瀬良
参加費：200円(食事代含)
心のともしび　番組案内
テレビ(衛星スカパー.ケーブル)スカイA
毎週土曜日 朝7:45
シリーズ「喜びと平和のうちに」
出演は松村 信也師(イエズス会)
ラジオ(KBS京都) ㊊～㊎ 朝5:55
㊏ 朝5:15
7月のテーマ「わたしの故郷」

大塚司教の
７月のスケジュール
Schedule of Bishop Otsuka

１日㊐ 10:30 河原町教会主日ミサ
（ペトロ岐部と187殉教者列福10周年感謝と列聖祈願）

３日㊋ 14:00 福音宣教企画室

４日㊌ 10:00 神の園 地域ケアセンター花笑み
竣工式

５日㊍ 10:00 中央協 常任司教委員会

６日㊎ ９:00 日本カトリック神学院・
常任司教委員会（東京キャンパス）

６日㊎－７日㊏「殉教者に学び、祈る集い」
（東京・上石神井　イエズス会黙想の家）

９日㊊－13日㊎ 2018年度 臨時司教総会
（中央協）

22日㊐ ９:00 八幡教会ミサ

24日㊋ 14:00 司教顧問会

25日㊌ 10:30 司祭・司牧者集会
（河原町カトリック会館）

27日㊎ 19:00 奈良聖書講座
（大和八木教会）

28日㊏ 10:00 奈良聖書講座（奈良教会）

29日㊐ 10:00 長岡教会ミサ

31日㊋－１日㊌ 第12回 京都教区カトリック学校
教職員修養会（河原町教会）

京都カトリック青年センター 運営委員紹介

＜京都南部＞

今年度も運営委員を致します河原町教会の奥埜と申します。ぜひ周りの青年にも、青年活動についてお声かけいただけると幸いです！　青年のために、引き続き、お祈りとご支援よろしくお願いいたします。

青年センターで、青年たちがたくさんの人と出会い、自分を振り返り、神さまをわかちあえるような活動をしたいと思います。お祈りよろしくお願いいたします。　（河原町教会　**奥埜のぞみ**）

引き続き京都南部地区の運営委員としてお世話になります。今年もイベントや新しい企画がたくさんあるのでご支援よろしくお願いいたします。
（西舞鶴教会　**小林　真衣**）

こんにちは、運営委員２年目になりました。１年目に培ったノウハウを発揮できるように今年も頑張ります。
（田辺教会　**松浦　隼人**）

＜京都北部＞

西舞鶴教会の小林まなつです。今年も継続し運営委員をさせていただき、青年活動に取り組みたいと思います。よろしくお願いします。
（西舞鶴教会　**小林まなつ**）

昨年に引き続き、今年度も青年センターの運営委員としてお世話になります。西舞鶴教会所属の小林まゆかです。今年も青年の活動にたくさん関わっていきたいと思います。よろしくお願いします！　（西舞鶴教会　**小林まゆか**）

＜三重＞

伊勢教会の濱口です。運営委員継続７年目となりますが、初心を忘れず、よりよい青年活動を企画、運営していくことができるよう努めます。本年度も、よろしくお願いいたします。
（伊勢教会　**濱口　聡子**）

＜滋賀＞

はじめまして、新運営委員、唐崎教会所属の田中拓実と申します。未熟なところもありますが、どうぞよろしくお願いします。
（唐崎教会　**田中　拓実**）

〔青年センターHP〕 携帯からでもご覧いただけます。　http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/

青年センターあんてな